



社会福祉法人 薄光会 広報紙

きらめき



第13号

改修工事竣工 三芳光陽園

各施設ホームページには、法人ホームページからアクセスしてください。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~hakukou/>

各施設のホームページにメールボックスがあります。ご意見、ご感想をお寄せください。

平成19年6月1日

社会福祉法人 薄光会 広報委員会発行

本部、豊岡光生園：〒299-1742 千葉県富津市豊岡 3535-1

Tel 0439-68-1711

三芳光陽園：〒294-0825 千葉県南房総市上堀 280

0470-36-3211

鴨川ひかり学園：〒299-2854 千葉県鴨川市代 1297

04-7099-3311

湊ひかり学園：〒299-1607 千葉県富津市湊 934-18

0439-70-6551

ケアホームCOCO：〒299-1616 千葉県富津市海良 92

0439-67-3380



『改造、改修工事が完了し、
無事、竣工いたしました。』

デイサービスセンターがリニューアルしました。



ユニット毎にリビングルームを整備しました。入所者個々を見つめた
処遇を考えていきたいと思えます。

【工期】
平成 18 年 9 月 27 日
～平成 19 年 3 月 30 日

【事業内容】

1. 施設内レイアウトの変更
2. 廊下部分に空調設備の新設
3. 水まわり設備（トイレ、浴室、洗面スペース）の改修

【改造、改修面積】

増築工事：116.43㎡
改修工事：612.72㎡

【事業費総額】

106,695,090 円

【内訳】

日本財団助成金 30,000,000 円
法人自己資金 66,695,090 円
県社協借入金 10,000,000 円



「この改修工事は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて
整備しました。」

『改修工事を終えてく新しい課題』

拝啓、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、日本財団から助成をいただき、九月末から六ヶ月に渡り施行してきました施設改修工事が無事完了竣工し、三月三十日に引き渡しを受けましたこと、「ご報告させていただきまます。これもひとえに皆々様の御支援、ご協力のたまものと感謝しております。

この改修工事で、法人施設を利用する方々のライフステージの最後を担う施設として、ハード面の整備ができたと考えています。リビングスペースや個浴、プライベートを配慮したトイレ等を使いこなし、多床室グループユニットによる、利用者個々を見つめた処遇を考え、ソフト面の整備を進めていきたいと思っております。



さて、三芳光陽園は、四月一日より豊岡光生園から新利用者を迎えました。豊岡光生園からの利用者としては三人目。五十二歳の女性ですが、重度の知的障害に加え、若年性認知症の診断で、介護保険二号被保険者の特定疾病に該当したため入所となりました。三芳光陽園には二十五名の知的障害の方が入所されていますが、軽度の方がほとんどで、重度の知的障害の方は、初めてのケースとなります。朝、夕を問わず、落ち着きなく歩き回る彼女に職員はてんてこ舞いしていますが、ふと立ち止まった時に見せてくれる笑顔に癒され、彼女との関係作りに励んでいます。

施設の改修が終わったということで、今後、豊岡光生園からの利用者が増えていくことが予想されます。重度、最重度の知的障害者の処遇を特別養護老人ホームとして構築していくことが最重要課題として上げられます。認知症の利用者の処遇とは違った処遇体系を、法人内の知的障害者の施設と連携しながら、築き上げていかなければなりません。それこそが、利用者のライフステージに応じた福祉を提供するという法人理念に沿うものであり、その最終段階を担う施設としての役割と考えます。そしてそれは、同時に豊岡光生園利用者の保護者の皆様の老後の選択肢ともなりうるもので、親子で入所できる施設としての

可能性を秘めたものと考えます。

それを三芳光陽園だけの課題としてではなく、法人内の施設の共通の課題として提起したいと思えます。その課題が克服できた時こそ、法人が特別養護老人ホームを作った意義が明らかになるものと考えます。

そつですよね、雲の上の鈴木理事長様。

三芳光陽園 施設長 神谷 亨



園だより

『絆』

ある日、テレビを見ていたら某人気グループが出ている。そのグループが進行役の番組のテーマである「絆」という言葉をふと思いついた。絆とは正確にはどんな意味だろうと興味本位で辞書を引いてみる。

絆：絶つにしのびない恩愛、離れがたい情実、とある。なるほど、絆か。利用者との間も絆なのだろう。深いのか浅いのか分からないが、絆を深められるような支援をしていきたいと「絆」という言葉に触発されて思いをはせた。

数日後、いつものように朝食後の掃除が終る頃、一人の利用者がやってきた。木村さんである。彼にはある日課がある。いつも夜勤者が園内のゴミを集めて脱衣場にまとめてあり、それをゴミ置き場へ捨てるのが彼の仕事になっていた。その脱衣場の鍵を開けるのが、いつの間にか私の役割になっていた。彼は仕事熱心で、いつも私の手を引っ張り、脱衣場まで連れて行っっては、「ゴミ」を持って走って捨てるにいくつある。

ある日いつものように脱衣場へ行く途中、私はつまづいて転んでしまった。その時、木村さんは手を差し出して、起こしてくれた。そういえば、最近よく事務所にも遊びにくるし、いろいろとお手伝い（おせっかい？）をしていくつくれるし、木村さんとの絆が少しずつ築かれていたんだなと実感した。うれしかった。

ふと、私に邪心が芽ばえた。仕事熱心な木村さんに、脱衣場の鍵と私の絆を比べてみたくなった。転んだ際に鍵を落としたらどのような反応をするのか確かめてみたかったのである。鍵より先に私を起こしてくれたら本当にうれしいなと思いつつ、わざと転んで鍵を落としてみる。私は木村さんの暖かい大きな手が自分の腕をつかんでくれるのを期待した。しかし、私の方など全く見向きもせず、鍵を拾うと、さっさと「ゴミ」捨てに行ってしまったのである。

ああ…、私達の絆って鍵以下のものだったのね、としばらく起き上がることが出来ず、絆の深さを確かめようとしたことへの後悔に打ちひしがれていた。



(幾野)

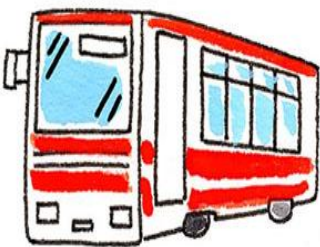
『いつ見えても新米』

— 試練にもめげず —

初めまして。小川乙彦と申します。まだ戸惑わずにはおれない青年末期の男です。縁あって光生園で働いています。何事も挑戦とと思っています。でも試練はあります。その一つ。試練は私が大型免許を持っていたこと。利用者を乗せての初運転の時でした。私の運転だと知れた時のバスの中の騒然たる「ギャー」「ウエー」というブーイング。「お前、免許あんの？」という疑う眼差し。これまでの練習も先輩のサポートも頭には無く、ただただ緊張。口の中パサパサ。変な汗はタラーリ。しかしです。広い道での二十分、緊張運転無事終了。停車したら車内に響く拍手の音。「おー」「あー」（よくやった、これから頼む）と指さし励ましの声。働き出して三か月。試練の後の「コマ」。

ほのほの、ほのほの……

(小川)



『ニューフェイス』

この春、養護学校を卒業され新しく利用する事になった方を紹介します。

高等部に在学中から時々利用されていた方で肌はお餅のようにぶっくらとしていて、笑顔からこぼれる白い歯はミルキーのような可愛い少女です。

今、彼女の興味はテレビに向いていて、あっ！と云う間にテレビの前にまっしぐら。

がしかし・・・テレビの前には、栄治さん・庄司さん・土井さんと大きな男たちがドッカーリ座っているのです。

「あゝ、友佳ちゃん」と、慌てて追いかける職員が追いつく頃には、テレビにしがみ付き

“こっこり”笑っています。

傍で見守る大男達も

“こっこり”笑い返しています。

「テレビをいじってはだめだよ。」と優しい眼差しで語りかけている様で、思わず口元が緩んでしまいました。

彼女は明るい性格なので、学園中がほんわかとした雰囲気になり、まるで春の盛りのようにになりました。折りしも、外では桜の花びらが舞っていて、部屋の中では笑顔の利用者が、音楽に合わせてダンスで舞っています。



《川名》

『外食』



今日四月二十六日は、久しぶりの外食です。当初の企画では、ファミリーレストランで“バースデーサービス”を戴こうというものでしたが、色々な理由から、利用者・職員共々いつもお世話になっている『ファミリー中華ながい』で、メニューには無い「中華ランチ」を戴く事になりました。

外食と聞いて、皆さんはどう思われるでしょうか？わくわくするのは、食いしん坊の私だけでしょうか？

場所が、いつもの散歩コースの途中にあるので、ほとんどの方が歩いて行きました。

やはり、わくわくしているのは私だけではありませんでした！

いつものペースより明らかに早い！しかも、皆を置いて「行く先は承知しているよ」とばかりにさっさと足早に歩いていってしまった方がいました。いつもの散歩なら、振り向いてニヤッと笑い戻って来てくれるのですが・・・

ね！亮太さん。

折りしも、今日は新川さんの誕生日なので特大お子様ランチ風の料理を前に“ハッピーバースデー”の大合唱。料理を見て「わあ、食べきれない・・・」とニコニコした。

※ 外食は、皆がわくわくするんですー！

《佐々木》

日本財団福祉車両助成事業

このたび、「日本財団」の助成金により鴨川ひかり学園に「送迎バス」の整備をすることができました。車両は、車椅子一台分を含み二十四人乗りで、利用者送迎や日中活動などに活躍しています。

事業名	送迎バスの整備
事業内容	日野リエッセIIリフト付
総事業費	六百九十三万円
補助額	二百六十九万円
施設名	鴨川ひかり学園
完了	平成十九年三月十九日



【編集後記】

平成十八年度（第五十六回）「NHK歳末助け合い」配分により、三芳光陽園に二十万円相当の家電品の寄贈を受けました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

すっかり初夏の南風総より、きらめき第十三号をお届けします。
(法人広報委員会)

学園新聞



「開園三周年!」

平成十九年四月二日、湊ひかり学園は開園三周年を迎えました。新しい仲間が増えて、学園はより一層賑やかになっています。また、成人デイサービスが「地域活動支援センター」という新しい事業に移行しました。「日中一時支援事業」も立ち上げる事になりました。四年目を迎え、ひかり学園は色々と「変化」しています。

「変化」時代、法制度・・・私たちを取り巻く環境は刻一刻と変化していきます。でも、変わらないもの(変えたくないものは・・・それは利用者の皆さんの笑顔! 職員全員の願いです。これからよろしくお願いします!)

「春だ! 野菜を作ろう!」

ひかり学園では開園以来、野菜の自給自足を目指して、畑作りに取り組んできました。



三年が経ち、利用者の皆さんの作業する姿も様になってきましたよ!



もちろん、畑はバリアフリー。車イスの方だって、ほら! 楽々、畑に入れます。みんなで芋ほりをするのは、毎年の恒例行事です。



春を迎え、種まき、苗の植え付けに忙しくなってきました。収穫時期が楽しみです。さあ、今年も頑張ろう!



「道を教えて!」

「のぶくん、ナビお願い!」 今日送迎車で、のぶくんをお願いしている職員・・・そうです。のぶくんは「人間カーナビ」なんです。ひかり学園に来るようになって、もうすへ二年のぶくんは自分の家までの道のりだけでなく、お友達の家までも覚えてしまいました。

では、のぶくんがナビをしている送迎車に乗り込んでみましょう!

* * * * *

ナビをお願いされてものぶくんは何食わぬ顔で歌を唄っています。何事もないかのように・・・でも、交差点になると、「みぎ〜 みぎ〜」 次の交差点では、「ひだり〜 ひだり〜」とナビが始まりました! 途中、ちよっと意地悪をして、違う方に曲がっても・・・「みぎ〜 みぎ〜」とまたナビしてくれます。

何人かのお友達の家を経由して、無事にのぶくんの家に到着です。

「のぶくん、もう少しナビしてへねない?」 職員の更なるお願いに、「聞「えないよ〜」 とばかりにのぶくんは唄いながら車を降りていきました。

のぶくん、明日もナビよろしく!~!

(碓井)

『平成十八年度決算報告に際して』

風薫る季節を迎え、皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。お蔭様でこの厳しい環境下にも係わりませず、目標に向い着実に歩を進めながらも報告通りの決算を終える事が出来ました。これも偏に皆様より給りました数々のご支援あればこそと深く感謝申し上げます。御座居ます。

膨大な財政赤字を抱え、少子高齢化も留る処を知らず、最早、我が国は福祉国家で有り続ける事など不可能に為りました。この様な社会環境の変化を捉え「介護保険制度」が改訂され、障害者福祉の指針を示した「障害者自立支援法」が施行されました。此れ等は介護を受ける老人や障害者ばかりではなく、家族やそれを支える法人に取りましても非常に厳しい制度や法律であります。

此の俛では、理念を共に法人を立ち上げ、此れを縁に人生の大半を法人と運命を共にして参りました親子の生きる手立さえ失ってしまいます。早く新しい秩序の中で生きてゆく術を身に付けなくてはなりません。

永年、営々と築き上げて参りました、障害を持つ子供達が親亡き後も人生の岐路に迷う事無く生き続けて行く手立て、即ち「利用者が其々のライフステージに沿って、能力に応じ自由に選択し、訓練或いは介護を受け乍ら安心して生きて行ける場と支援体制」を新秩序の下、早急に構築する事こそが親子の生きて行く術であり、法人に課せられた使命であると確信致して居ります。

管掌官庁よりグリーン・ドデザインが示されて以来、私達はこの目標に向い支援体制の再編成、ケア・ホームの確保、特養三芳光陽園の改修等々着実に歩を進めて参りました。然し、目標成就には此れから例えば、多目的作業棟及び複数のケア・ホームなどを準備致さねば為りません。築三十年を迎える入所施設豊岡光生園も各所に衰えが見られます。近年中には老朽個所の改修を兼ね、今日的な居住性を十分備えた内容に改めなければなりません。

これらの作業を完成させる事により今迄築き上げて参りました法人の諸施設・設備も全て新基準に沿って生れ変わり、利用者も路頭に迷う事無く生きて行ける道筋が確保され

る予定です。

この一連の取り組みに際し、更なるご指導とご支援を給り度々お願い申し上げます、決算に当り現況の報告と御礼の辞に替えさせていただきます。

理事長 山崎 幸男



【平成18年度決算公開】

【貸借対照表】

平成19年3月31日 現在

資産の部				負債の部			
科目	当年度	前年度	増減	科目	当年度	前年度	増減
流動資産	344,443,994	290,247,727	54,196,267	流動負債	98,028,616	12,712,805	85,315,811
現金預金	225,968,569	204,603,150	21,365,419	短期運営資金借入金	0	0	0
有価証券	0	0	0	未払金	93,974,568	11,876,270	82,098,298
未収金	117,011,095	84,373,803	32,637,292	預り金	4,054,048	836,535	3,217,513
貯蔵品	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	311,910	0	311,910	仮受金	0	0	0
前払金	1,152,420	1,125,110	27,310	その他の流動負債	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	固定負債	138,700,000	141,350,000	-2,650,000
仮払金	0	145,664	-145,664	設備資金借入金	138,700,000	141,350,000	-2,650,000
その他の流動資産	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
固定資産	1,095,869,890	1,028,279,242	67,590,648	長期預り金	0	0	0
基本財産	921,698,011	829,066,375	92,631,636	退職給与引当金	0	0	0
建物	720,490,827	627,859,191	92,631,636	長期特定引当金	0	0	0
土地	200,207,184	200,207,184	0	負債の部合計	236,728,616	154,062,805	82,665,811
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	174,171,879	199,212,867	-25,040,988	基本金	505,105,865	491,646,735	13,459,130
建物	30,252,409	32,980,459	-2,728,050	基本金	505,105,865	491,646,735	13,459,130
構築物	9,992,516	10,336,614	-344,098	国庫補助金等特別積立金	425,141,466	406,531,598	18,609,868
機械及び装置	12,827,680	14,062,619	-1,234,939	国庫補助金等特別積立金整備時	412,733,375	395,895,869	16,837,506
車両運搬具	24,032,772	21,160,894	2,871,878	国庫補助金等特別積立金償還補助	12,408,091	10,635,729	1,772,362
器具及び備品	33,562,861	41,319,349	-7,756,488	その他の積立金	63,473,641	78,902,932	-15,429,291
土地	0	0	0	移行時特別積立金	3,747,562	47,552,932	-43,805,370
建設仮勘定	0	420,000	-420,000	人件費積立金	11,500,000	4,000,000	7,500,000
権利	0	0	0	修繕費積立金	21,012,000	16,700,000	4,312,000
投資有価証券	30,000	30,000	0	備品等購入積立金	11,150,000	10,650,000	500,000
長期貸付金	0	0	0	施設整備等積立金	16,064,079	0	16,064,079
移行時特別積立預金	3,747,562	47,552,932	-43,805,370	次期繰越活動収支差額	209,864,296	187,382,899	22,481,397
移行時減価償却特別積立預金	0	0	0	次期繰越活動収支差額 (うち当期活動収支差額)	209,864,296 7,052,106	187,382,899 15,134,032	22,481,397 -8,081,926
人件費積立預金	11,500,000	4,000,000	7,500,000	純資産の部合計	1,203,585,268	1,164,464,164	39,121,104
修繕費積立預金	21,012,000	16,700,000	4,312,000	負債及び純資産の部合計	1,440,313,884	1,318,526,969	121,786,915
備品等購入積立預金	11,150,000	10,650,000	500,000				
施設整備等積立預金	16,064,079	0	16,064,079				
その他の固定資産	0	0	0				
資産の部合計	1,440,313,884	1,318,526,969	121,786,915				

【資金収支決算内訳表】

自平成17年4月1日～至平成18年3月31日

勘定科目		薄光会全体	法人本部	豊岡光生園	三芳光陽園	三芳光陽園 通所介護	三芳光陽園 居宅介護	鴨川ひかり	湊ひかり	デイ 湊ひかり	児童デイ 湊ひかり	ケアホーム COCO
経常活動による収支	収入											
	介護保険収入	277,456,540	0	0	235,173,440	35,513,100	6,770,000	0	0	0	0	0
	利用料収入	180,739,442	0	122,208,513	0	0	0	33,807,910	24,723,019	0	0	0
	自立支援費等収入	216,324,695	0	127,744,407	0	0	0	31,402,560	23,233,011	12,371,889	17,666,488	3,906,340
	経常経費補助金収入	16,272,616	0	5,764,356	0	0	0	5,254,130	5,254,130	0	0	0
	寄附金収入	6,036,944	2,215,000	1,265,664	360,000	0	0	709,000	1,188,880	126,400	13,000	159,000
	雑収入	11,168,575	175,166	5,717,050	2,755,450	216,000	36,000	1,149,933	911,746	201,230	6,000	0
	借入金利息補助金収入	1,255,341	0	0	280,000	0	0	719,021	256,320	0	0	0
	受取利息配当金収入	8,543	440	0	8,072	0	0	5	0	0	0	26
	経理区分間繰入金収入	35,000,000	23,000,000	0	5,500,000	0	1,000,000	0	3,500,000	0	0	2,000,000
補助事業等収入	17,260,854	0	3,436,619	0	0	0	1,956,868	270,149	11,557,993	39,225	0	
	経常収入計(1)	761,523,550	25,390,606	266,136,609	244,076,962	35,729,100	7,806,000	74,999,427	59,337,255	24,257,512	17,724,713	6,065,366
支出	人件費支出	489,579,959	299,000	171,068,598	162,590,016	28,679,781	5,587,656	53,611,567	42,907,941	10,551,731	12,035,322	2,248,347
	事務費支出	86,961,145	2,991,551	26,283,238	37,990,984	2,649,815	1,302,325	6,139,723	6,516,257	2,682,944	210,772	193,536
	事業費支出	99,800,114	0	40,822,002	38,384,338	4,664,701	49,889	6,441,691	3,740,609	4,161,497	868,164	667,223
	借入金利息支出	2,941,601	628,461	0	698,000	0	0	1,102,500	512,640	0	0	0
	経理区分間繰入金支出	35,000,000	7,000,000	20,000,000	1,000,000	0	500,000	2,000,000	1,000,000	2,500,000	1,000,000	0
		経常支出計(2)	714,282,819	10,919,012	258,173,838	240,663,338	35,994,297	7,439,870	69,295,481	54,677,447	19,896,172	14,114,258
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	47,240,731	14,471,594	7,962,771	3,413,624	-265,197	366,130	5,703,946	4,659,808	4,361,340	3,610,455	2,956,260
施設整備等による収支	収入											
	施設整備等補助金収入	38,331,000	4,221,000	0	30,000,000	0	0	4,110,000	0	0	0	0
	施設整備等寄附金収入	685,000	0	0	0	0	0	685,000	0	0	0	0
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設整備等収入計(4)	39,016,000	4,221,000	0	30,000,000	0	0	4,795,000	0	0	0	0
支出	固定資産取得支出	133,655,566	15,634,191	653,415	106,558,890	0	0	9,304,270	1,504,800	0	0	0
	元入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		施設整備等支出計(5)	133,655,566	15,634,191	653,415	106,558,890	0	0	9,304,270	1,504,800	0	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-94,639,566	-11,413,191	-653,415	-76,558,890	0	0	-4,509,270	-1,504,800	0	0	0
財務活動による収支	収入											
	借入金収入	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	0	0	0	0	0
	借入金元金償還補助金収入	3,500,000	0	0	1,750,000	0	0	1,750,000	0	0	0	0
	積立預金取崩収入	48,305,370	0	5,000,000	37,625,015	874,985	0	4,805,370	0	0	0	0
		財務収入計(7)	61,805,370	0	5,000,000	49,375,015	874,985	0	6,555,370	0	0	0
支出	借入金元金償還金支出	12,650,000	2,000,000	0	3,500,000	0	0	3,500,000	1,650,000	2,000,000	0	0
	積立預金積立支出	32,876,079	16,064,079	10,000,000	0	0	0	3,000,000	0	3,500,000	0	312,000
		財務支出計(8)	45,526,079	18,064,079	10,000,000	3,500,000	0	0	6,500,000	1,650,000	5,500,000	0
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	16,279,291	-18,064,079	-5,000,000	45,875,015	874,985	0	55,370	-1,650,000	-5,500,000	0	-312,000
	予備費(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-31,119,544	-15,005,676	2,309,356	-27,270,251	609,788	366,130	1,250,046	1,505,008	-1,138,660	3,610,455	2,644,260
	前期末支払資金残高(12)	277,534,922	22,785,222	60,087,622	117,813,815	15,531,707	4,792,322	23,171,862	17,687,344	12,395,273	3,269,755	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	246,415,378	7,779,546	62,396,978	90,543,564	16,141,495	5,158,452	24,421,908	19,192,352	11,256,613	6,880,210	2,644,260